

保育実習指導 実施状況に関するアンケート調査結果

【これまでの経緯と本研究の目的】

全国保育士養成協議会東北ブロック研究委員会では、平成 24 年度研究として、全国保育士養成協議会東北ブロックの各会員校の「保育実習指導」の指導実践を集約し、質の高い指導を目指す参考資料を収集し、参考資料として東北ブロック内で共有するため、「保育実習指導」についての実態調査を実施した。また、平成 25 年度研究として、各養成校において取り組まれている保育実習指導の実態調査のさらなる分析と編纂等の諸検討から保育実習教育に役立つミニマム・スタンダードとして「保育実習指導 I」の事前および事後指導について「保育実習指導のガイドライン（東北版）」を策定し、東北ブロック内での共有を図った。その成果は、東北ブロック各会員校が閲覧およびダウンロードできるホームページにて公開している。

平成 26 年度は、研究テーマを『実習訪問指導及び事後指導についての調査研究』とし、以下の 3 点を目的として検討を進めてきている。

(1) 「保育実習指導のガイドライン（東北版）」を基に、未着手であった実習訪問指導及び具体的実践例の収集と、充実を要する実習事後指導に焦点をあてて実態を調査すること。

(2) 指導実践の実態及び実践における工夫とグッド・プラクティスなどについて、質問紙調査や研究委員が聞き取り調査おこなうことにより、「保育実習指導のガイドライン（東北版）」の改訂に取り組むこと。

(3) 実習教育の充実を図る際に各会員校の参考となりうる魅力あるモデルの設定を検討し、東北ブロック各会員校で共有すること。

本稿では、上記 (1) について実施した「保育実習指導 実施状況に関するアンケート調査」の集計結果について報告していく。

【方法】

- ・対象：全国保育士養成協議会東北ブロック会員校教員
- ・調査方法：平成 26 年度東北ブロックセミナー（平成 26 年 11 月 7～8 日）出席者に対し、アンケート調査の概要を説明し、各会員校にアンケート用紙を配布した。なお欠席した会員校については、セミナー終了後に郵送にてアンケート用紙を送付した。37 校 40 課程（青森県 7 校、岩手県 4 校、宮城県 13 校 15 課程、秋田県 3 校、山形県 3 校、福島県 7 校 8 課程、）の会員校にアンケートを配布・送付した。回答は 35 校 38 課程からあり、回収率 (38/40) は 95%であった。ただし、うち 2 校 2 課程は実習未実施により今回のアンケートに回答不可能のため、集計の対象とした回答数は 34 校 36 課程である（回収率 90%）。
- ・調査内容：実習訪問指導と実習事後指導の大きく 2 項目について調査を実施した。質問紙の内容は、以下のとおりである。

実習訪問指導：実習スケジュール、訪問指導件数、訪問指導担当教員、訪問のタイミング、かける時間、訪問指導に先立つ工夫、施設と話すこと、学生と話すこと、学生と面談できなかった場合の対応、訪問指導内容の共有、良かったこと、困りごと、訪問指導の目的と内容についての考え、教員間での訪問指導の目的・内容・方法の共有、補講の工夫

実習事後指導：7つの指導方法それぞれの有無、時期、回数、内容、実習で課題が発見された学生への指導、評価表の開示、成績担当者、実習先評価の反映、実習の成績評価対象

【結果】

●回答校及び回答者について

- ・回答校について n=36 課程 (34 校)

学校種別: 大学 9 校 (25.0%) / 短期大学 18 校 19 課程 (52.7%) / 専修学校 7 校 8 課程 (22.2%)

養成年限: 4 年制 9 校 (25.0%) / 3 年制 3 校 3 課程 (5.5%) / 2 年制 24 校 24 課程 (69.4%)

- ・回答者の担当する実習指導 (複数回答)

保育所実習 30/36 (83.3%)

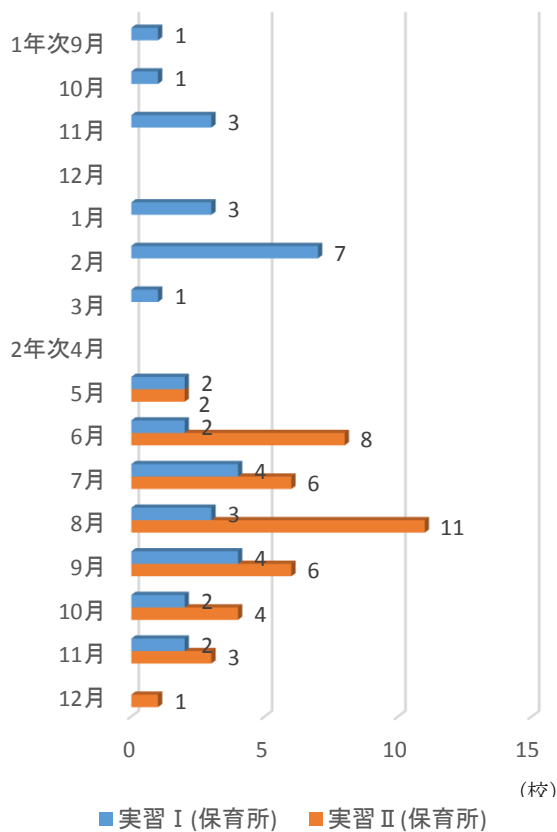
施設実習 26/36 (72.2%)

その他 6/36 (16.6%) (うち 幼稚園実習 3/36 (8.3%))

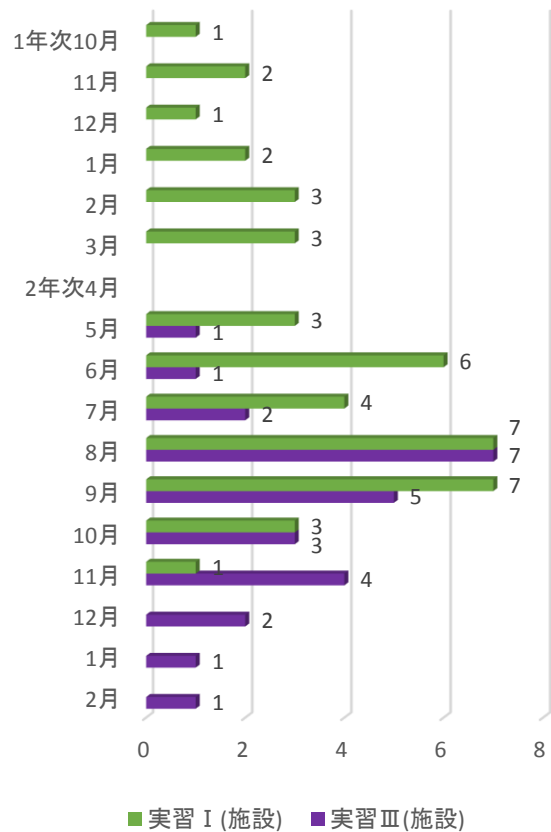
- ・実習スケジュール (複数回答)

2 年制の養成校 24 校 (24 課程) の実習時期

2年制: 保育実習 I・II
(保育所)の時期

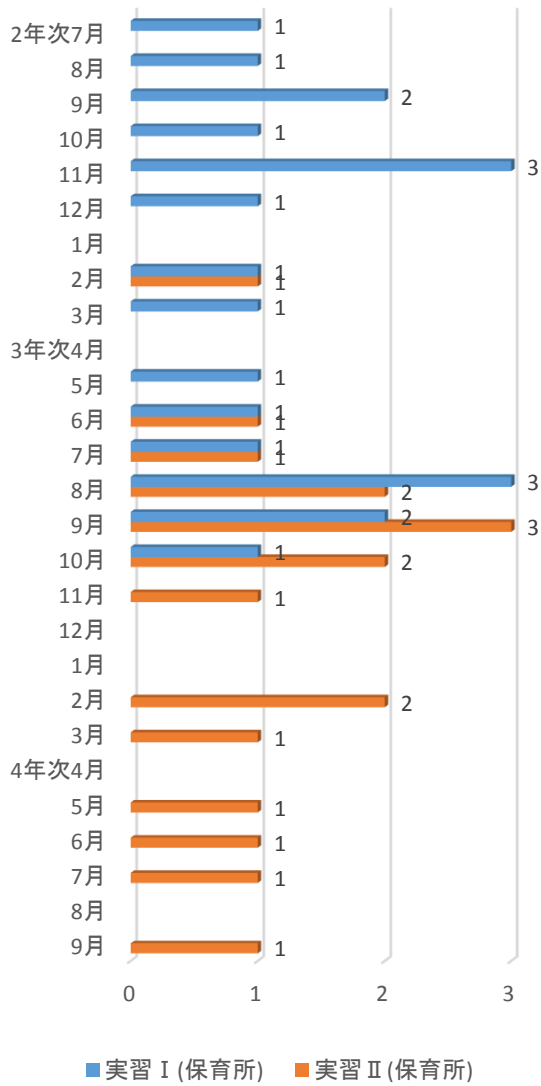


2年制: 保育実習 I・III
(施設)の時期

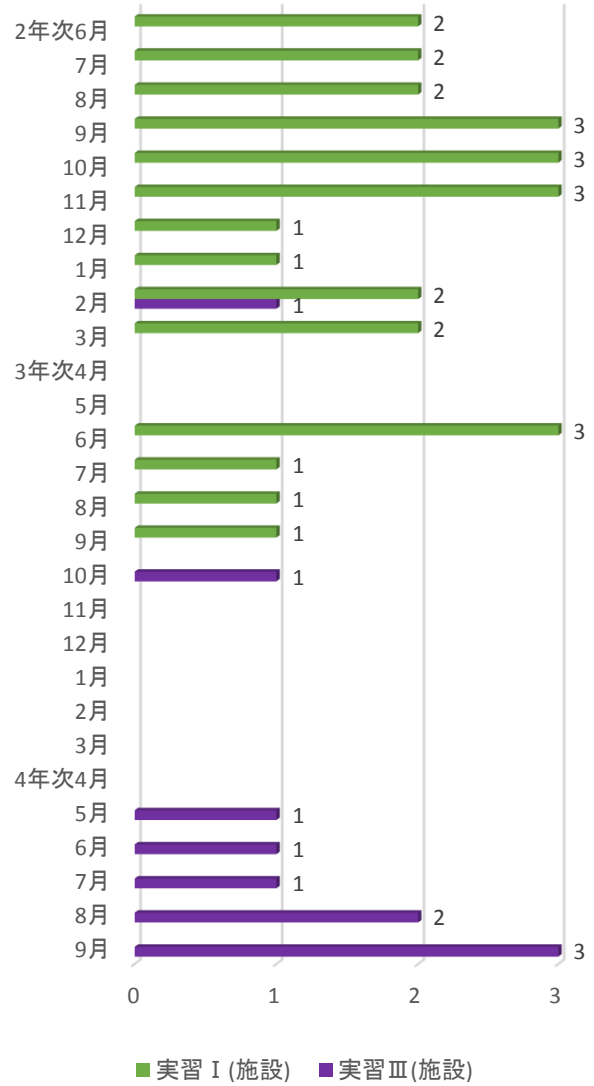


3・4年制の養成校 12校（12課程）の実習時期（複数回答）

3・4年制:保育実習Ⅰ・Ⅱ
（保育所）の時期



3・4年制:保育実習Ⅰ・Ⅲ
（施設）の時期



1. 実習訪問指導について

(1) 学生が実習している全ての施設先への訪問

ほとんどの養成校で、学生が実習している全ての施設へ実習訪問を行っているという回答があった（86.1%）。全施設に訪問していない場合の対応としては、「電話等で確認する」（80%）という回答が多かった（図1）。

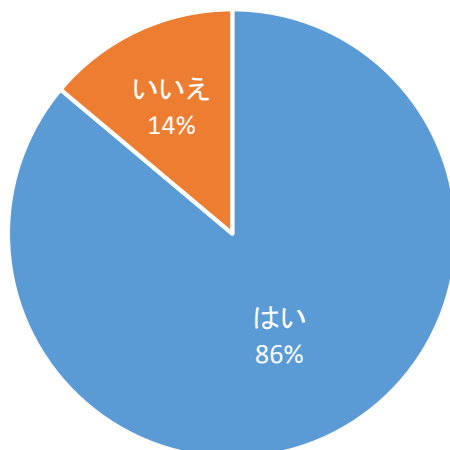


図1 全ての実習先の訪問

(2) 実習訪問指導担当教員一人当たりの巡回件数

<施設実習>

施設実習における実習訪問指導担当教員一人当たりの巡回件数については、5件以下（69.4%）の回答が最も多く、6～10件（16.7%）、10～15件（8.3%）と続いており、回答の平均値は5.4件で、最大は13件、最小は1件という回答であった（図2）。

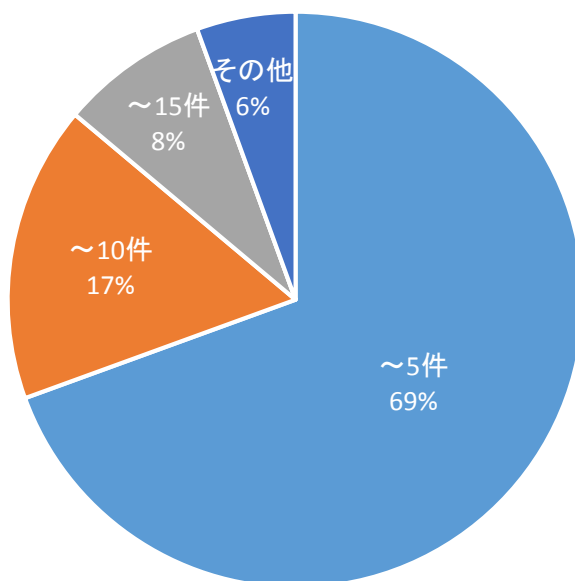


図2 実習訪問指導担当教員一人当たりの巡回件数（施設実習）

施設実習において、訪問件数の多い先生については、6～10件（55.6%）の回答が最も多く、平均値は7.4件で、最大は15件、最小は1件という回答であった。また、訪問件数の少ない先生については、1～5件（88.9%）の回答が最も多く、平均値は3.2件で、最大は10件、最小は1件という回答であった（表1）。

表1 実習訪問指導担当教員一人当たりの巡回件数（施設実習）

＜多い先生＞			＜少ない先生＞		
訪問数	件数	%	訪問数	件数	%
1～5件	10	27.8	1～5件	32	88.9
6～10件	20	55.6	6～10件	4	11.1
11～15件	6	16.7	11～15件	0	0.0
16件～	0	0.0	16件～	0	0.0
その他	0	0.0	その他	0	0.0
計	36	100.0	計	36	100.0

＜保育所実習＞

保育所実習における実習訪問指導担当教員一人当たりの巡回件数については、6～10件（50.0%）の回答が最も多く、5件以下（30.6%）、10～15件（13.9%）と続いており、回答の平均値は7.2件で、最大は15件、最小は3件という回答であった（図3）。

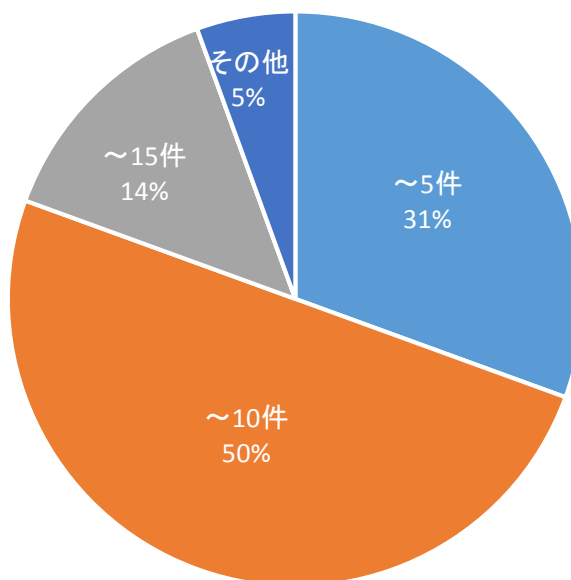


図3 実習訪問指導担当教員一人当たりの巡回件数（保育所実習）

保育所実習において、訪問件数の多い先生については、6～10件（44.4%）の回答が最も多く、平均値は9.5件で、最大は21件、最小は4件という回答であった。また、訪問件数の少ない先生については、1～5件（77.8%）の回答が最も多く、平均値は4.2件で、最大は12件、最小は1件という回答であった（表2）。

表2 実習訪問指導担当教員一人当たりの巡回件数（保育所実習）

<多い先生>

訪問数	件数	%
1～5件	7	19.4
6～10件	16	44.4
11～15件	11	30.6
16件～	2	5.6
その他	0	0.0
計	36	100.0

<少ない先生>

訪問数	件数	%
1～5件	28	77.8
6～10件	7	19.4
11～15件	1	2.8
16件～	0	0.0
その他	0	0.0
計	36	100.0

(3) 実習訪問指導担当教員について

実習訪問担当教員については、事前事後の実習指導を担当している教員であるという回答の割合が高く、「実習事前指導担当者」（88.9%）、「事後指導担当者」（77.8%）であった。また、「保育系科目担当者」（86.1%）が多く、「保育系以外の科目担当者」（47.2%）も実習訪問を担当している養成校も半数近くあった（図4）。

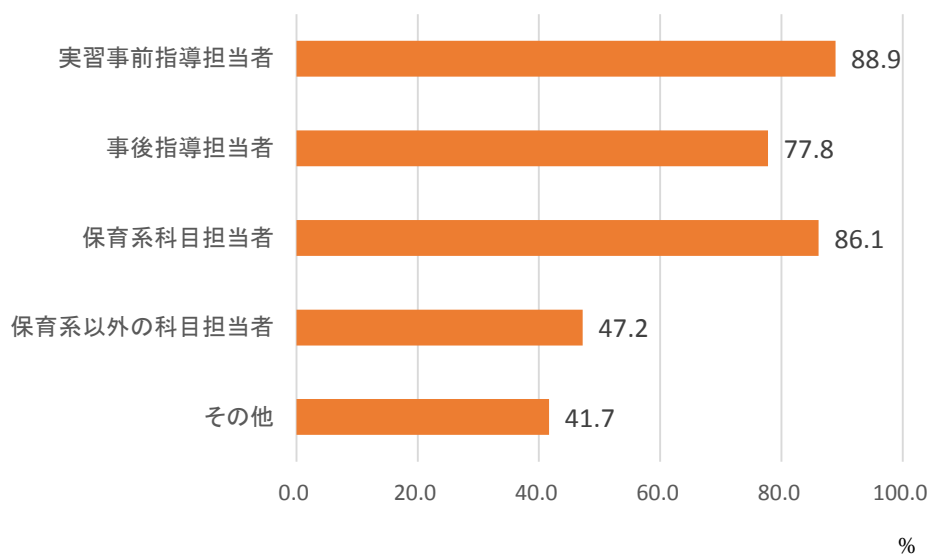


図4 実習訪問指導担当教員

(4) 実習訪問指導のタイミング

実習訪問指導の時期については、全ての実習において「2週目前半」という回答が最も多く、実習Ⅰ（施設）が94.4%、保育実習Ⅰ（保育所）が88.9%、保育実習Ⅱが91.7%、保育実習Ⅲが95.5%という回答であった。続いて、「1週目後半」という回答が多く、実習Ⅰ（施設）86.1%、実習Ⅰ（保育所）75.0%、実習Ⅱ75.0%、保育実習Ⅲが95.5%であった。「2週目後半」という回答は、実習Ⅰ（施設）16.7%、実習Ⅰ（保育所）27.8%、実習Ⅱ33.3%、保育実習Ⅲが22.7%であり、

実習によってやや開きが見られた。「1週目前半」という回答は、実習Ⅰ（施設）5.6%、実習Ⅰ（保育所）2.8%、実習Ⅱ8.3%、保育実習Ⅲが9.1%であり、全ての実習で1割未満であった（図5）。

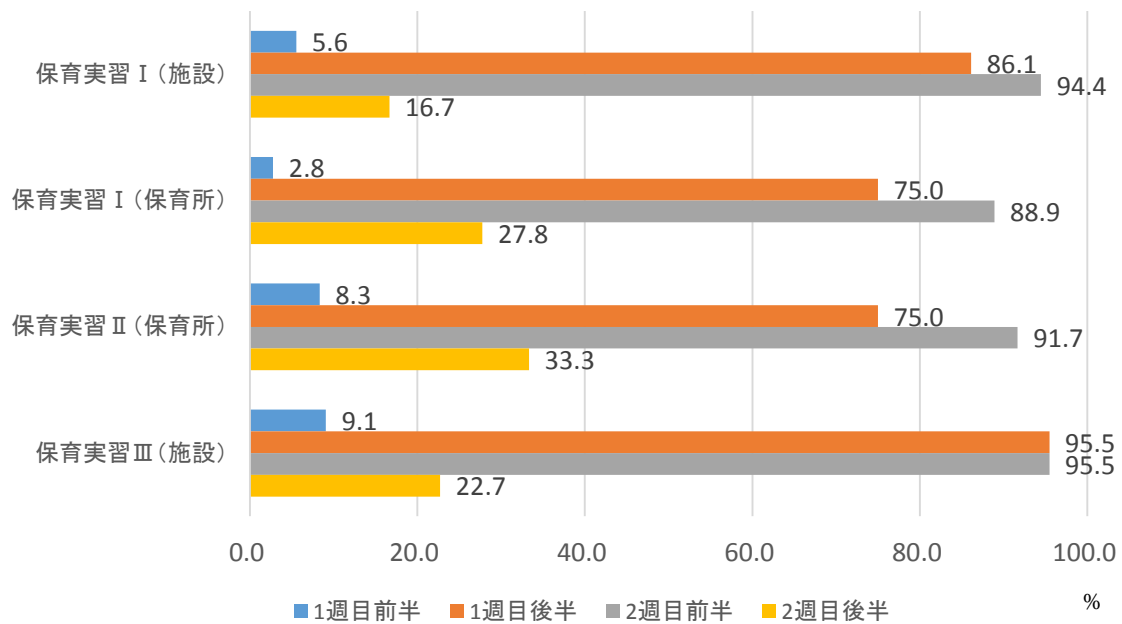


図5 実習訪問指導の時期

(5) 実習訪問指導に要する時間

実習生が一人の場合、1か所の実習先で実習訪問指導に要する時間としては、30分以上60分未満(55.6%)が最も多く、続いて60分以上90分未満(27.8%)、90分以上(11.1%)、30分未満(5.6%)という回答であった。平均値は48分であり、最大で120分、最小で15分であった（図6）。

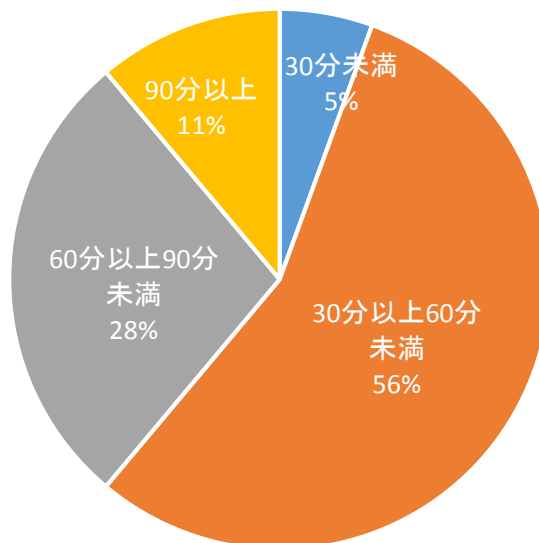


図6 実習訪問指導の時間（実習生が一人の場合）

また、実習生が複数人の場合、一か所の実習先で実習訪問指導に要する時間としては、60分以上90分未満（36.1%）、30分以上60分未満（33.3%）、90分以上（30.6%）がいずれも約3割の回答であり、30分未満の回答はなかった。平均値は65分であり、最大で150分、最小で30分であった（図7）。

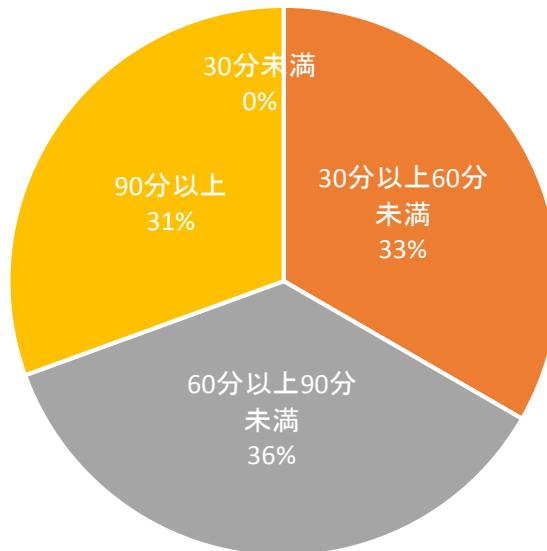


図7 実習訪問指導の時間（実習生が複数人の場合）

(7) 実習訪問指導時に、施設と話すようにしていること

実習訪問時に施設と話すようにしていることがあるという回答は97.2%であり、ほとんどの養成校が該当していた（図8）。

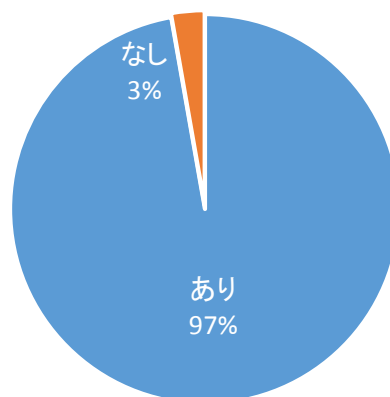


図8 実習先と話すようしていることの有無

実習訪問時に実習先と話すようにしている内容として、必ず確認していることと話すようにしていることの回答の和が9割を超えていた項目は、「実習態度・学ぶ意欲」（97.2%：55.6%／41.7%）、「実習日誌の記入状況」（94.4%：58.3%／36.1%）、「礼儀・職員とのかかわり」（94.4%：38.9%／55.6%）であった。また、「体調管理」（83.3%：33.3%／50.0%）、「実習謝礼の受取」（61.1%：38.9%／22.2%）の回答も多く、通勤方法の確認は（33.3%：5.6%／27.8%）であった（図9）。

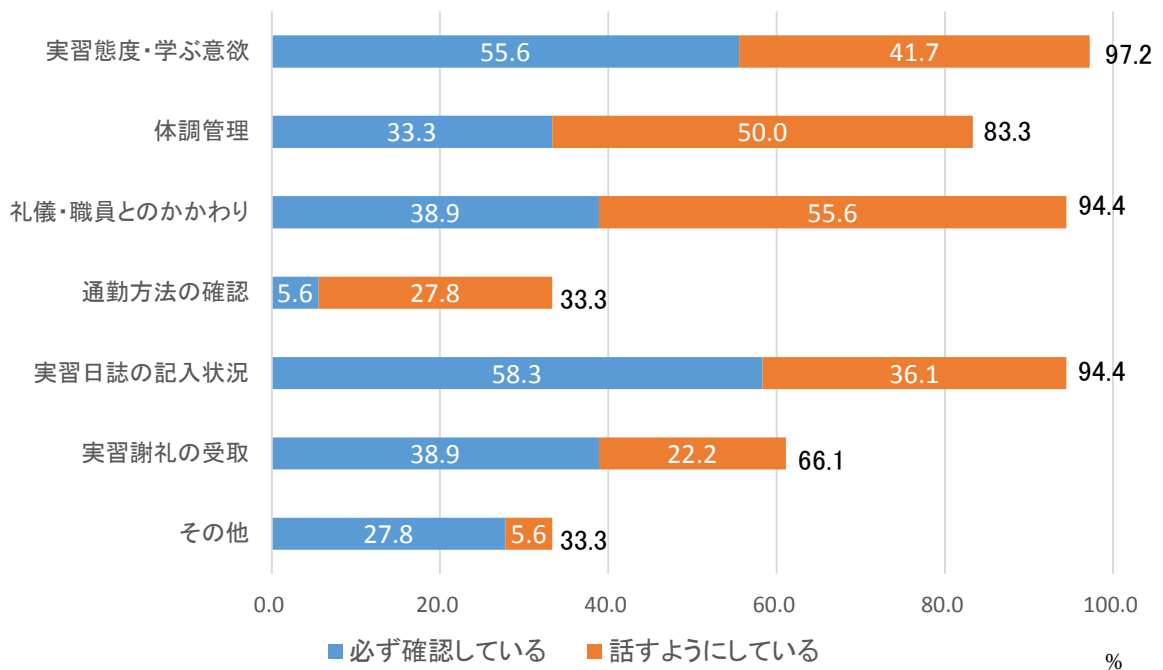


図9 実習先と話す内容

(8) 実習訪問指導時に、学生と話すようにしていること

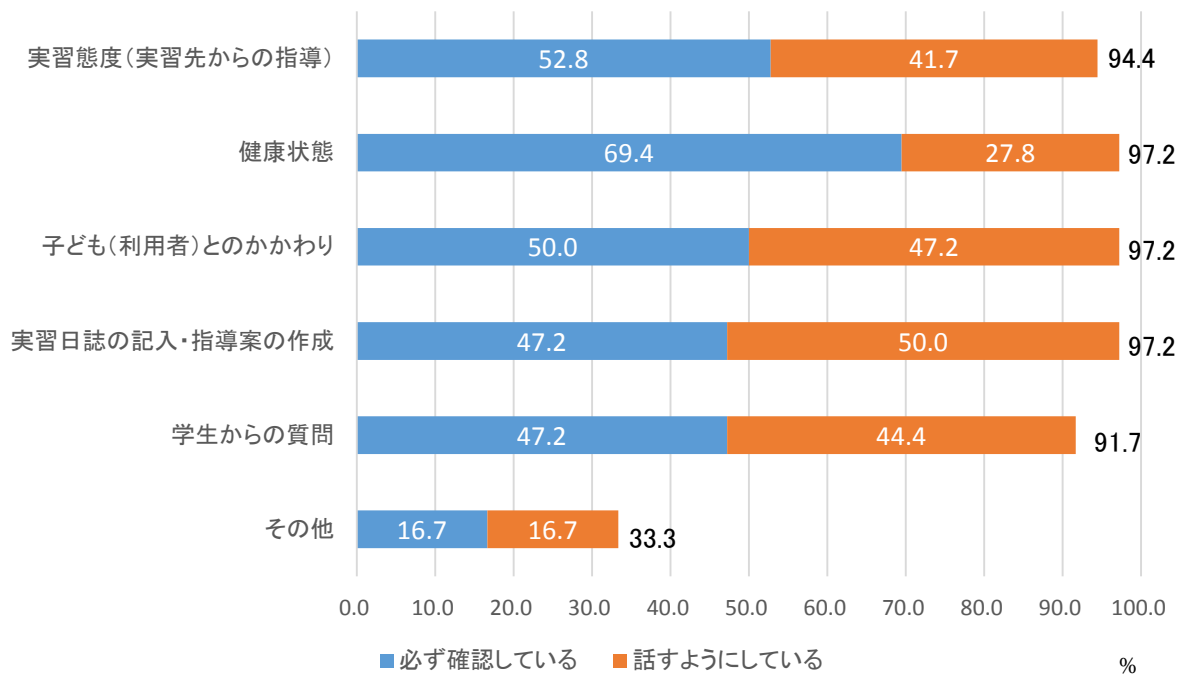


図10 学生と話すようにしている内容

実習訪問時に学生と話すようにしている内容として、必ず確認していることと話すようにしていることの回答の和は、全ての選択肢で9割を超えていた。必ず確認することの回答割合が多い順に、「健康状態」(97.2% : 69.4%/27.8%)、「実習態度(実習施設からご指導のあったこと等)」94.4% : 52.8%/41.7%)、「子ども(利用者)とのかかわり」(97.2% : 50.0%/47.2%)、「実習日誌の記入・指導案の作成」(97.2% : 47.2%/27.8%)、学生からの質問(91.7% : 47.2%/44.4%)であった(図10)。

(9) 実習訪問指導時に、学生と面談できなかった時の対応方法

実習訪問時に学生と面談できなかった時の対応としては、電話(33.3%)やメール(2.8%)で学生と連絡を取り指導する、再訪問する(19.4%)という回答であった。もっとも回答が多かった、その他での回答内容については、「学生と面談できる日に訪問している」「少しの時間でも必ず時間を設けてもらう」「そのようなことはこれまでなかった」というものであった(図11)。

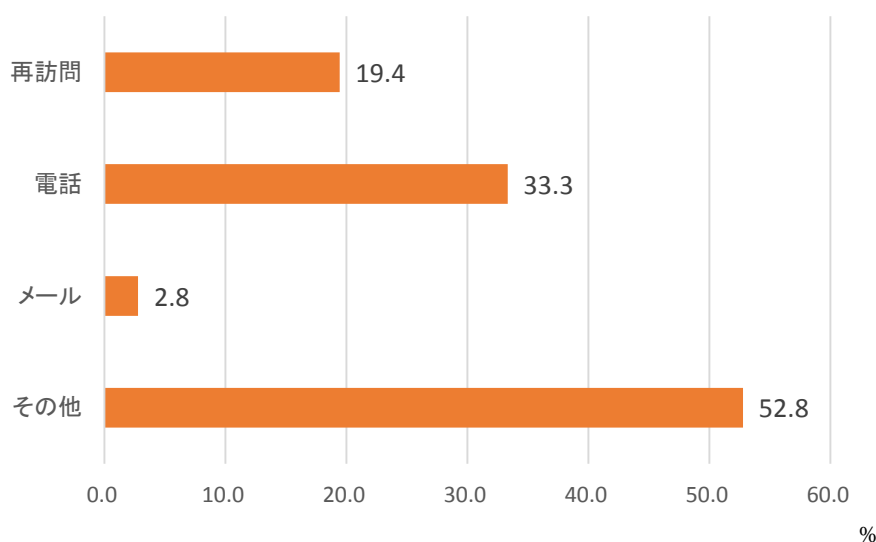


図11 学生と面談できなかった時の対応方法

(10) 実習訪問指導時の学生の様子や実習状況などの教員間での共有

実習訪問指導時の学生の様子や実習状況などの教員間での共有については、全ての養成校で「共有している」という回答であった(100%)。

その共有方法としては、実習委員会等での報告(41.7%)、文書で回覧(22.2%)、ネット上のフォルダ等で共有(16.7%)という回答であった。もっとも回答が多かった、その他の回答内容については、「学科会議」「職員会議」「教員の打合せ」「担当者の話し合い」というものであった(図12)。

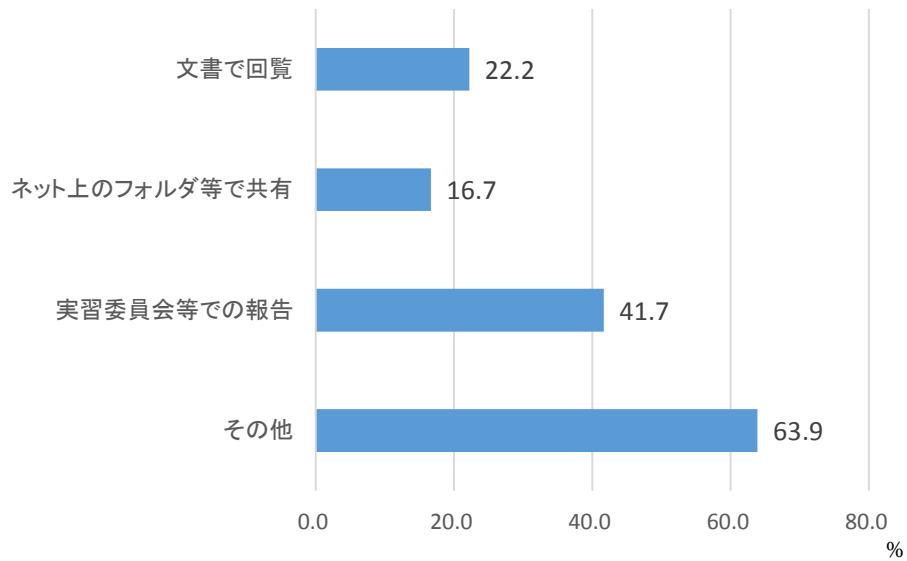


図 12 実習訪問指導内容の教員間での共有方法

(13) 実習訪問指導の目的と内容

実習訪問指導の目的と内容として、「特に重要だと思われる」と「あてはまる」の回答の和が9割を超えていた項目は、「実習状況の把握」(94.4% : 77.8% / 16.7%)、「実習生への指導や励まし」(94.4% : 72.2% / 22.2%)であった。また、「実習先への謝礼」(77.8% : 41.7% / 36.1%)、「卒業生の動向」(69.4% : 8.3% / 61.1%)、「今後の実習のお願い」(66.7% : 13.9% / 52.8%)の回答も多かった(図 13)。

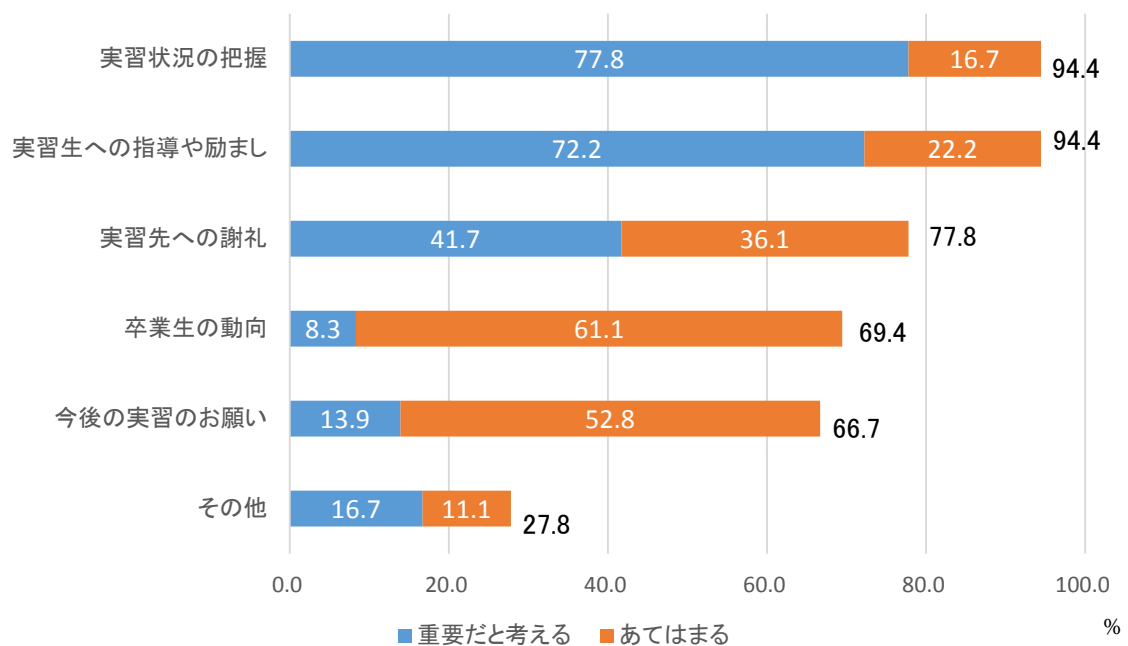


図 13 実習訪問指導の目的と内容

(14) 実習訪問指導における目的や内容・方法についての事前共有

実習訪問指導における目的や内容・方法について、事前に教員間で共有しているという回答は88.9%であった（図14）。

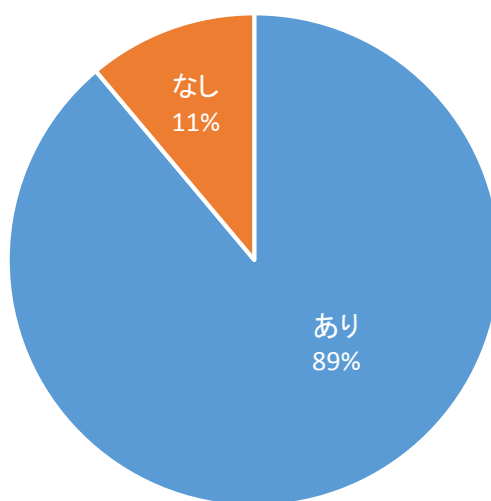


図14 実習訪問指導目的・内容・方法の事前の共有

その共有方法については、「手引き・マニュアルがある」が44.4%、「口頭で確認」が30.6%であった。その他（30.6%）の内容としては、「会議で確認する」「文書・プリントで確認する」というものであった（図15）。

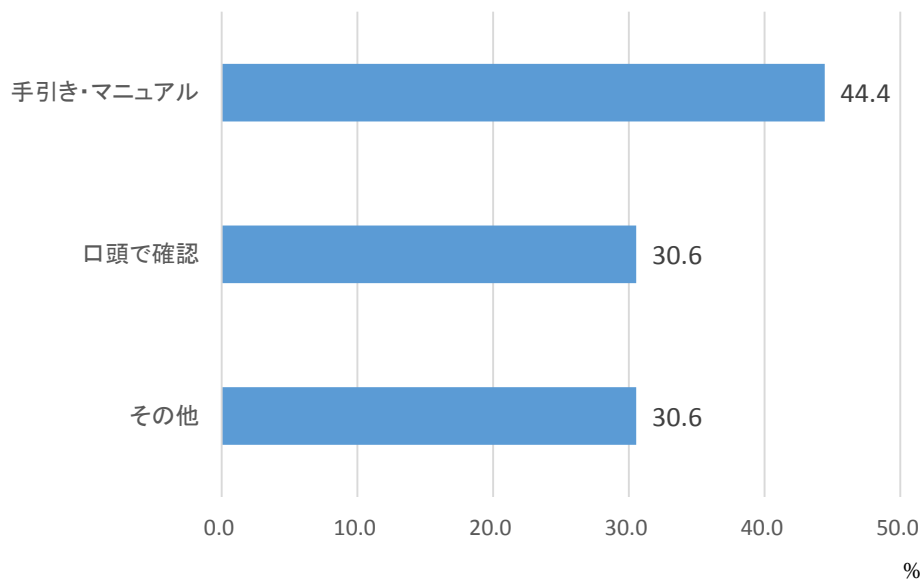


図15 実習訪問指導目的・内容・方法の共有方法

以上

1. 実習訪問指導について伺います。

(1) 学生が実習中の施設に全て訪問されますか。 はい ・ いいえ

↓

全施設に訪問されていない場合にはどうされていますか。

()

(2) 実習訪問指導担当教員一人当たりの巡回件数は何件ですか。

施設 【 約 件 (多い先生 件～ 少ない先生 件) 】
保育所 【 約 件 (多い先生 件～ 少ない先生 件) 】

(3) 実習訪問指導担当教員はどなたですか。(実態に合わせて、複数の選択肢をお選びください。)

【 実習事前指導担当者・事後指導担当者・保育系科目担当者・保育系以外の科目担当者
その他 () 】

(4) 実習訪問指導を行うタイミングを教えてください。

(実態に合わせ、複数の選択肢をお選びください。)

保育実習Ⅰ (施設)	1週目前半 ・ 1週目後半 ・ 2週目前半 ・ 2週目後半
保育実習Ⅰ (保育所)	1週目前半 ・ 1週目後半 ・ 2週目前半 ・ 2週目後半
保育実習Ⅱ (保育所)	1週目前半 ・ 1週目後半 ・ 2週目前半 ・ 2週目後半
保育実習Ⅲ (施設)	1週目前半 ・ 1週目後半 ・ 2週目前半 ・ 2週目後半

(5) 一か所に要する実習訪問指導の時間を教えてください。(一人の場合、複数人の場合の両方についてお尋ねします。)

【 実習に臨んでいる学生が一人の場合 : 時間 分 】

【 実習に臨んでいる学生が複数人の場合 : 時間 分 】

(6) 実習訪問指導のために、事前に工夫なさっていることを教えてください。

- 例) ・実習前に担当する学生との顔合わせ会を行う
・訪問時、教員に自校の学生が分かりやすいよう、学生に実習中は共通のエプロン等を着用させる
・実習園の状況に応じて、担当する教員を決定する など

()

(7) 実習訪問指導時に、施設と話すようにしていることはありますか？

は い ・ いいえ

↓

その項目としてあてはまるすべての項目に○をつけ、また、必ず確認されている項目については◎をつけてください。

実習態度・学ぶ意欲 () 体調管理 () 礼儀・職員とのかかわり ()
通勤方法の確認 () 実習日誌の記入状況 () 実習謝礼の受取 ()
その他 ()

(8) 学生と話すようにしていることはどのようなことでしょうか。

あてはまるすべての項目に○をつけ、また、必ず確認されている項目については◎をつけてください。

実習態度(実習施設からご指導のあったこと等) () 健康状態 ()
子ども(利用者)とのかかわり () 実習日誌の記入・指導案の作成 ()
学生からの質問 ()
その他 ()

(9) 学生と面談できなかった場合にはどうされていますか。

【 もう一度訪問日を調整して面接を実施する ・ 電話で済ませる ・ メールで済ませる 】

その他 ()

(10) 実習訪問指導時の学生の様子や実習状況などの情報は、教員間で共有されていますか。

【 共有している ・ 共有していない 】



共有方法を教えてください。

【 文書で回覧 ・ ネット上のフォルダ等で共有 ・ 実習委員会等での報告 】

その他 []

(11) 実習訪問指導をしてよかったと思ったことは、どのようなことでしょうか。
例) ・ 学生の頑張っている様子を見ることができる など

[]

(12) 実習訪問指導に関しての困りごとがあれば、そのエピソードやご対応について、簡単に教えてください。

[]

(13) 実習訪問指導の目的と内容について、どのようにお考えでしょうか。

あてはまるすべての項目に○、特に重要だと思われる項目については◎をつけてください。
また、その他考えられることについて、具体的にお書きください。

実習状況の把握 () 実習生への指導や励まし () 実習先への謝礼 ()

卒業生の動向 () 今後の実習のお願い ()

その他

[]

(14) 実習訪問指導における目的や内容・方法（施設や学生について確認する事項、アポイントメントを取る時期等）については、事前に教員間で共有されていますか。

は い ・ いいえ



共有方法を教えて下さい。

【手引やマニュアルがある ・ 口頭で確認されている 】

その他

()

(15) 実習訪問指導等で休講にする科目がある場合、どのようにして15回の授業時間を確保されていますか。補講の工夫点などがあれば、教えてください。

例) 全員で実習中の時間割を調整する、授業を交換するなど

()

*参考のため、実習訪問指導マニュアルおよび実習訪問指導報告書書式などを添付していただけるとありがたく存じます。よろしく願いいたします。